

仕事納め式での挨拶

H25.12.27(金)

皆さん、おはようございます。仕事納めに際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

今年を振り返ってみますと、昨年暮れに安倍政権が成立し、一昨日で一年が経過しました。

日本全体、あるいは世界の中で見ますと、中韓との関係、安全保障、TPPなど、いろいろな難しい状況が続いております。

他方、経済面では、いわゆるアベノミクスによって、日本経済は久しぶりに回復の過程にあります。長らく停滞を続けていた日本経済に少し明るい動きが出てきた、ということは、やはり今年の大きな出来事だったと思います。

もちろん、今の景気回復が、中長期的な成長軌道に乗っていくのかどうか、につきましては、今後の動きをよく見ていく必要があると思います。

こうした中で、4月から消費税が引き上げられます。これが、経済全体にどのような影響を与えるのか、という問題もあります。政府はこの年末の予算編成で約5兆円の経済対策を打ちました。

他方、県経済全体としては、まだ景気回復を実感出来るような状況にはありません。

年が明けますと、県の予算編成では政府の経済対策などに対応した対策や中小企業対策、TPPや農政の見直しなどに伴う農林水産業対策、消費税引き上げに伴う社会保障の充実等の諸課題に取り組んで行かなければならないと考えております。

さて、今年は夏に津和野町、江津市、浜田市、邑南町など県西部で集中豪雨災害がありました。被害に遭われた皆様方に、改めてお見舞いを申し上げる次第です。

この災害復旧作業には、県職員も地元の市や町や工事関係者の方々などと一体となって一所懸命取り組んでおられます。関係の皆さんのご努力、ご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。

今後、鉄道の復旧や観光被害の克服を含め、災害からの復興が早く進むよう、県として、引き続き力を傾注していく必要がありますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、原発の問題があります。日本にとっても島根にとっても難しい問題であります。

今般、中国電力が島根原発2号機の安全性確認審査を原子力規制安全委員会へ申請することについて、安全協定に基づく事前了解をどうするかという問題がありました。県としては、審査の申請と審査が終わってからの問題は別の問題として、2段階の方式で対応していくということで進んでいます。

昨日、原子力規制委員会や原子力規制庁に対して、厳格な審査を行うことや、審査結果などを県や松江市だけでなく、鳥取県を含め周辺自治体によく説明してもらいたいといった要請をしてきました。

この問題につきましては、やはり、立地自治体、周辺自治体の意見をよく聞き、議会、安全対策協議会、県民の方々の意見もよく聞きながら、丁寧に対応を考えていくことが大事であると考えております。

こうした難しい問題、課題もありますが、今年は良い事も多くありました。特に出雲大社の大遷宮による観光客の大幅な増加は、私どもの予想をはるかに超えるものでありました。

島根県が持つ古き良き文化、伝統、自然などが、大都市の方々にもわかるような時代になってきたと感じています。世の中全体が、そうしたものが大事だと気付くような歴史の局面に来ているのではないかと思います。

また、9月には隠岐ジオパークの世界認定がありました。

西部におきましても、石見神楽や温泉など、様々な豊かな地域資源があります。

こうした、我々が持つ古き良き文化、歴史、豊かな自然、食材などを大いに活用して、島根の発展のために努力をしていくことが、これからの我々の大きな課題であります。

こうした観光産業を支える交通インフラの面でも、一定の動きがありました。

松江・尾道線も三次まで開通し、来年度には尾道まで開通します。島根は四国とも高速道路で結ばれる時代となり、大きな変化がもたらされます。

山陰高速道でも未着手区間の事業化の動きが進んでいます。早く進めていく努力をしていかなければなりません。

また、航空路線につきましては、萩・石見空港で2便化の復活が決まりました。

このような観光面でのいろいろな好ましい、有り難い動きを活用して、観光の振興、発展が県内各地に拡がり、継続するよう、来年以降も努力して行く必要があります。

こうして見ますと、皆さんにとって、県にとって、今年一年、忙しい年でもあったと思います。

皆さんのこの一年の努力と精励に対しまして、心より感謝申し上げる次第です。

本年もあと数日で終わります。明日からの休暇は9日間と最長の休みであります。

ゆっくりと身体を休められ、来年からの仕事のための英気を養っていただきたいと思っております。

来年が県民の皆様にとりまして、明るく、活気のある年となりますよう、皆さんとともに一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

県民の皆様、職員の皆様、それぞれよい年をお迎えになりますよう心からお祈り申し上げます。私からの挨拶といたします。